

主な内容

02 令和2年度長井市決算を報告します

04 タンザニア連合共和国 リヒテンシュタイン公国
交流のあゆみ

広報ながいの
電子版は
こちらから



LINEの
友だち登録は
こちらから



内谷市長 今月のひとこと

「広がる国際交流の輪」

今年も早いもので、灯火親しむ候となりました。私は本を読むのが好きで、ついうっかり夜更かししてしまうこともあります。皆さんは秋の夜長をどう楽しんでいますか。

10月から少しずつ新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきていますが、第6波もあり得ることから、引き続き慎重な行動をとらざるを得ない状況です。政府は年内中に、コロナの経済対策としての大型補正を組むということを公言しておりますので、国と歩調を合わせながら、市民生活や社会経済活動を活発化できるような支援策に全力で取り組んでまいります。

さて、昨年9月議会でけん玉が長井市の市技として制定され、先日、3人目の地域おこし協力隊として、アメリカ人のブラウン・シェルビーさんが着任されました。福島でALTとして外国語教育に従事された際、けん玉を子どもたちとのコミュニケーションツールとして活用し、技を磨いたそうです。市民の皆さんとともにけん玉によるまちづくりを推進してまいりたいと思います。

また、10月26日には、2人目のスポーツ国際交流員(SEA)として、マグズ・チャールズさんが着任しました。マグズさんの協力のもと、スポーツ交流を通じて、タンザニアとの友好関係を深めてまいります。